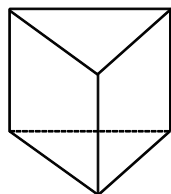


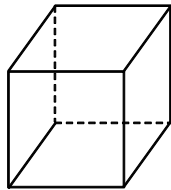
【要点】 ①いろいろな立体

(1) 柱体

合同（形も大きさも同じ）な2つの平面図形を底面として持つ、筒状の空間図形のこと。底面の形によって、角柱（底面：多角形、側面：四角形）や円柱（底面：円）がある。



三角柱



四角柱

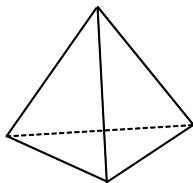


円柱

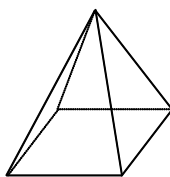
(2) 錐体

底面の図形と空間上の1点とを結んだときにできる立体をいう。底面の形によって、角錐(底面：多角形)や円錐(底面：円)がある。

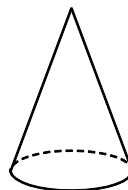
（*角錐の中でも、底面が正多角形で側面が二等辺三角形の角錐を、正多角錐という。
（入試では、正三角錐(正四面体)と正四角錐がよく出題されている。）



三角錐



四角錐

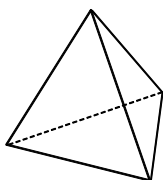


円錐

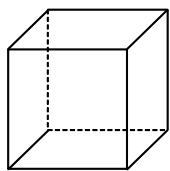
(3) 正多面体

全ての面が同一の正多角形でできており、全ての頂点において接する面の数が等しい多角形でできている多面体を、正多面体という。正多面体は全部で5種類。

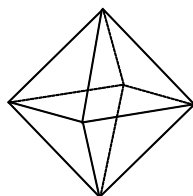
正四面体・正六面体（立方体）・正八面体・正十二面体・正二十面体がある。



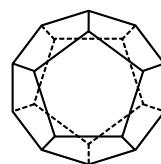
正四面体
(正三角形×4面)



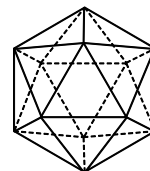
正六面体（立方体）
(正方形×6面)



正八面体
(正三角形×8面)



正十二面体
(正五角形×12面)



正二十面体
(正三角形×20面)